

Top Message

確かな安心と信頼を広げ、 よりよい未来に貢献するために

一般社団法人 生命保険協会 会長 高田 幸徳

1. 顧客本位の業務運営の推進

お客さまの最善の利益を追求する「顧客本位の業務運営」は、生命保険業界が事業の礎として絶えず推進し続けていかなければならないものであり、何より優先すべき考え方です。このため、これまでの取組みレベルを前進させ、高度化を推進してまいりました。

「営業職員チャネルのコンプライアンス・リスク管理態勢の更なる高度化にかかる着眼点」（以下、「着眼点」）については、会員各社の取組状況や高度化に向けた対応を確認するためのフォローアップアンケートを実施しました。そして、アンケート結果などを踏まえ、各社役員や代表者による意見交換会を開催し、会員各社の取組みの共有などを行っております。しかしながら、「着眼点」公表以降も不適正事象が根絶されておらず、引き続き、不断の努力を続けていく必要があるとの課題認識を踏まえ、営業職員チャネルを有する会員各社の代表者と「着眼点」に基づき自社の態勢・取組みについて改めて深度ある点検を行うこと、および、代表者のリーダーシップのもと、「着眼点」を踏まえた態勢整備に不断に取り組むことを申し合わせました。加えて、不適正事象の根絶に向けて、お客さま向けに保険会社が通常取らない行為を注意喚起するため、チラシ・ポスターの作成や、Web広告を実施しました。

代理店チャネルにおける乗合代理店の保険販売においては、会員各社の体制整備や保険代理店との適切な関係構築などを推進していくにあたり、監督指針改正などを踏まえた協会ガイドラインの新設・改正を行うなど、各種取組みを実施しました。また、「保険業法の一部を改正する法律」の施行に向け、会員各社や委託先代理店の体制整備の後押しを行ってまいりました。また、外貨建一時払保険などにおける販売・管理等態勢について、自主ガイドラインなどを踏まえた取組みの浸透・定着を目的に、フォローアップアンケートを実施し、会員各社の取組状況を確認しました。

これらの取組みを通じ、業界全体として、お客さまの最善の利益の追求に努めてまいりました。

2. 持続可能な社会とよりよい未来への貢献

生命保険業界がより一層、国民生活の向上に寄与していくためには、「持続可能な社会」の実現に加え、「よりよい未来」を目指すことも視野に入れた取組みを推進することが重要であると考えており、関連する様々な取組みを実施してまいりました。

国の豊かさを示す新たな指標の1つとして国際的に議論されているWell-beingを取り上げ、生命保険業界の貢献のあり方などについて発信するシンポジウムを開催しました。

また、会員各社において実施したアンコンシャス・バイアス解消のための取組事例調査の結果を取りまとめ、報告書として公表しました。さらに、「介護離職問題」に関する業界の取組状況などを取りまとめた報告書を作成・公表したほか、会員各社の女性リーダー候補者を対象とした講演会・ネットワーキングイベントを開催しました。

こうした取組みを通じて、生命保険業界における女性の更なる活躍を推進するとともに、働く誰もがWell-beingを実感できる業界の実現を目指してまいりました。

3. 業界の健全な発展に資する情報発信

生命保険業界が安定して事業を継続し、お客さまに安心を提供し続けていくためには、我々の活動を広くご理解いただくことが重要であり、様々な情報発信を行ってまいりました。

生命保険募集人の多様性や意義についてのご理解を深めていただくとともに更なる活躍を後押しする目的で、生命保険募集人を総称する親しみやすい呼称を公募し、大賞を発表しました。

また、昭和100年という節目を記念し、社会の主要な出来事と並行して生命保険業界の歩みを年表でたどり、提供する商品の切り口から時代の課題にどのように対応してきたのかを整理した「昭和時代の生命保険事業について」を公表しました。昭和100年の節目を迎える今、生命保険業界は、その歴史的使命を継承しつつ、誰もが安心して健康に暮らせる社会の実現に向けて、これからも取り組んでまいります。

これら3点の取組みの軸に加え、国民の皆さまが必要とする多様な生活保障の準備を支援・促進するための税制面での拡充や、様々な活動に関する国内外への発信など、生命保険業界がお客さまからの信頼を維持し、健全に発展していくための基盤整備にも継続して取り組んでまいりました。当協会は、これからも国民生活の向上に一層貢献するため、弛まぬ努力を続けてまいります。